

## 「復興支援ありがとうの森 2020」植樹祭のご案内



一般社団法人森の防潮堤協会（宮城県仙台市/代表：日置道隆）と株式会社三五（本社：愛知県みよし市/代表取締役社長：恒川幸三）は、2018年4月10日（火）に「復興支援ありがとうの森 2020」植樹祭を開催します。

日時：2018年4月10日（火） 14：00より取材受付開始

場所：(株)三五 EC035 愛知県名古屋市熱田区六野1丁目3-1

<http://eco35.jp/Information/index.html>

森の防潮堤協会は、東北被災沿岸部にいのちを守る森の防潮堤をつくっています。その代表的なプロジェクトである宮城県岩沼市「千年希望の丘」は、今や東北被災地復興の象徴と呼ばれています。

この活動には多くの方々のご支援をいただきました。そんな皆さんに感謝の気持ちを伝えたい。ささやかながら小さな森をプレゼントしたい。生物多様性豊かな森を日本全国に広げていきたい。そんな思いから、「復興支援ありがとうの森 2020」をスタートします。

その第一歩を三五の基本理念である「環境づくり」の拠点になっているEC035から踏み出します。

三五は、東日本大震災復興支援活動として、各工場の育苗活動に多大な尽力を注がれ、東北被災沿岸部に森の防潮堤をつくる植樹祭に20,000本もの苗木を寄付し、その多くが東北被災地復興の象徴と呼ばれている宮城県岩沼市「千年希望の丘」に植えられています。その植樹祭にも三五&オールトヨタ自然共生ワーキンググループとして大勢で参加いただきました。

植樹は、「環境づくり」の実践教育として行われ、三五新入社員51名がEC035入り口に日本古来の「鎮守の森」をつくります。植樹方法は植物生態学者の宮脇昭先生が確立した混植・密植の宮脇方式で行います。

この植樹祭は、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局の「beyond2020プログラム」の認証活動として実施します。

この植樹祭の様をぜひ取材していただきたく、ご案内申し上げます。

### <当日スケジュール>

時間（予定）	内容	
14:00～14:30	取材受付	EC035入り口植栽地に直接お越しください。
14:30～14:50	式典	・開会 ・復興支援ありがとうの森 記念プレートの授与 ・2018年支援の苗木の贈呈 ・森の防潮堤協会理事長 日置道隆 挨拶 ・三五常務執行役員 加藤智久 挨拶
14:50～15:45	植樹	・日置理事長、加藤常務、新入社員51名 ・閉会

問い合わせ先： 一般社団法人森の防潮堤協会 園田

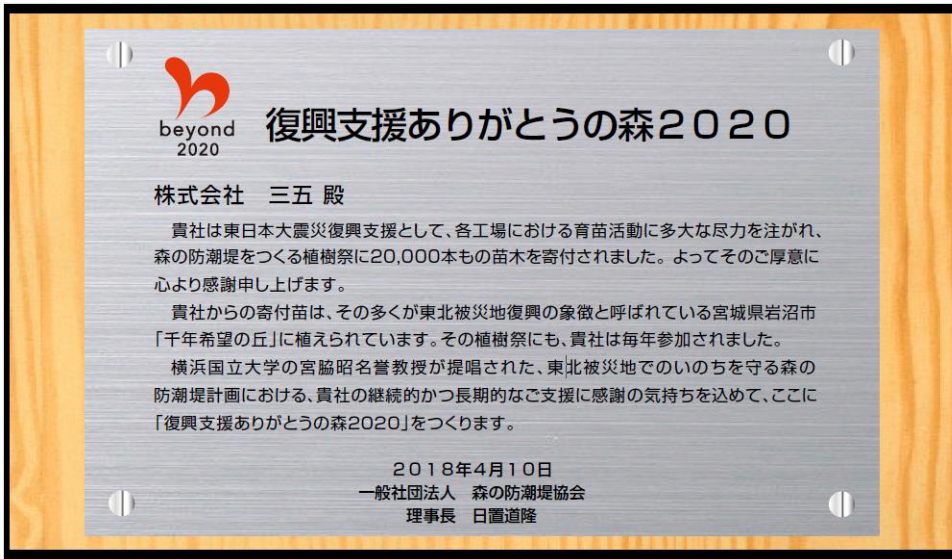
宮城県仙台市青葉区北山1丁目14番1号

TEL： 022-234-5327 メール： [y\\_sonoda9000@yahoo.co.jp](mailto:y_sonoda9000@yahoo.co.jp)

※ 取材頂ける場合は事前にメールにてお知らせいただけますと幸いです。

～参考資料～

1、当日お披露目「記念プレート」



2、「復興支援ありがとうの森2020」樹種リスト

高木：8種 42本

アラカシ (6)、シラカシ (6)、シイノキ (6)、イロハモミジ (2)、カクレミノ (4) ヤブツバキ (4)、  
アオキ (4)、ヒサカキ (6)、イヌツゲ (4)

低木：10種 193本

マサキ (7)、クチナシ (5)、トベラ (5)、ジンチョウゲ (5)、シモツケ (2)、カンツバキ (42)、サツキツツジ (34)  
シモツケ (17)、ヒラドツツジ (42)、マルバシヤリンバイ (34)

合計：19種 235本

3、「beyond2020 プログラム」ホームページ

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/beyond2020/](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020/)

4、「beyond2020 プログラム」森の防潮堤協会認証内容

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/beyond2020link/pdf/20180302\\_ninsholist.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020link/pdf/20180302_ninsholist.pdf)

復興支援ありがとうの森2020	一般社団法人 森の防潮堤協会	2018/4/1	2019/3/31	高槻編	岩沼市	東日本大震災後に被災沿岸部で進めてきたいのちを守る森の防潮堤づくり。その実績である岩沼市千年希望の丘は、今や東北被災地復興の象徴と呼ばれています。本事業は、①東北被災地で継続する植樹と育樹(除草)活動、②講演会、セミナー、環境学習などの実施、③全国各地での感謝の森づくりによって構成します。これまでご支援いただいた皆さんに感謝の気持ちを伝えたい。ささやかながら小さな森をプレゼントしたい。生物多様性豊かな照葉樹中心の森を広げていきたい。「和」の精神に基づく自然と人間社会の共存・共生を象徴する「鎮守の森」を市民との協働によって未来に残したい。そんな思いから、この取り組みをスタートします。地域の子どもたちに加え、外国語表記のチラシや外国語対応スタッフを配置するなどして海外からの留学生や観光客にも参加を呼び掛けます。岩沼市内の障害者施設の皆さんが育てている苗木も復興五輪が開催される2020年には植樹可能になります。復興五輪を象徴するプロジェクトになることを目指して、日本古来の「鎮守の森」に刻まれた防災・減災の知恵を探りながら、この日本らしい取り組みと「復興支援ありがとう」を世界中に届けます。
-----------------	----------------	----------	-----------	-----	-----	--

東日本大震災後に被災沿岸部で進めてきたいのちを守る森の防潮堤づくり。その実績である岩沼市千年希望の丘は、今や東北被災地復興の象徴と呼ばれています。

本事業は、①東北被災地で継続する植樹と育樹(除草)活動、②講演会、セミナー、環境学習などの実施、③全国各地での感謝の森づくりによって構成します。

これまでご支援いただいた皆さんに感謝の気持ちを伝えたい。ささやかながら小さな森をプレゼントしたい。生物多様性豊かな照葉樹中心の森を広げていきたい。「和」の精神に基づく自然と人間社会の共存・共生を象徴する「鎮守の森」を市民との協働によって未来に残したい。そんな思いから、この取り組みをスタートします。

地域の子どもたちに加え、外国語表記のチラシや外国語対応スタッフを配置するなどして海外からの留学生や観光客にも参加を呼び掛けます。岩沼市内の障害者施設の皆さんが育てている苗木も復興五輪が開催される2020年には植樹可能になります。

復興五輪を象徴するプロジェクトになることを目指して、日本古来の「鎮守の森」に刻まれた防災・減災の知恵を探りながら、この日本らしい取り組みと「復興支援ありがとう」を世界中に届けます。